



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 加藤産業株式会社
コード番号 9869 URL <http://www.katosangyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 和弥
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 神月 豊
四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 平成29年6月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

TEL 0798-33-7650

平成29年6月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	485,732	1.1	5,215	21.1	5,878	20.3	3,657	33.2
28年9月期第2四半期	480,504	4.0	4,307	△12.0	4,884	△10.5	2,746	△17.1

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 5,989百万円 (234.3%) 28年9月期第2四半期 1,791百万円 (△73.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	99.85	—
28年9月期第2四半期	73.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	309,680	34.5	110,290	34.5	—	—
28年9月期	304,788	33.5	105,038	33.5	—	—

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 106,830百万円 28年9月期 101,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	23.00	—	23.00	46.00
29年9月期	—	23.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	965,000	1.2	8,420	6.1	9,500	5.0	6,000	15.3	163.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	38,153,115 株	28年9月期	38,153,115 株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	1,522,245 株	28年9月期	1,522,109 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	36,630,944 株	28年9月期2Q	37,334,399 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算説明会開催日後、当社ウェブサイトにて掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善等を背景とした緩やかな回復基調が続いているものの、海外情勢では、米国における今後の政策の動向、中国景気の下振れリスク、欧州の政治リスク等の懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品流通業界におきましては、雇用環境及び所得環境は堅調に推移しているものの、日常の生活関連消費については消費者の節約志向が根強く、生活防衛意識の強さが続いております。一方で、消費者の生活スタイルの変化等による食生活の多様化も見られ、企業を取り巻く競争環境が幅広くなり、また、人手不足等に伴う物流関連コストの負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況下において当社グループは、卸売業の役割である「つなぎ」と提案型営業を推進し、営業力のさらなる強化により小売業をはじめとした取引先との取り組みを一つひとつ積み重ね、店舗の売場創造提案を行うとともに自社ブランド商品の開発・販売においても価値訴求を進めることで、価格だけに頼らない価値の提供に取り組みました。また、物流費をはじめとした諸経費の抑制及び業務の生産性向上等のローコストオペレーションにより経営の効率化を進めました。

海外事業においては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、中国・シンガポール・ベトナム国内での食品卸売事業の展開と、日本を含めたアジア諸国間の食品流通インフラの構築を図っており、アジア地域における事業展開の強化を進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期に比べて1.1%増加し、4,857億32百万円となりました。利益につきましては、自販力の強化と利益管理の徹底及び自社ブランド商品の拡販を図るとともに、物流費の抑制を進めた結果、営業利益は52億15百万円（前年同四半期比21.1%増）となり、経常利益は58億78百万円（前年同四半期比20.3%増）となりました。そして、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べて33.2%増加し、36億57百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

<常温流通事業>

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、日常の生活関連消費における生活防衛意識の強さが続いている一方で、消費者の生活スタイルの変化等によって需要の多様化も見られます。

このような状況下において、価格だけに頼らない価値の提供に取り組むために、仕入先と連携しながら得意先との関係強化を築くとともに、自社ブランド商品の開発・販売においても価値訴求を進めることで、自販力の強化を図りました。また、物流費の抑制及び生産性向上に取り組み、経営の効率化を進めました。

以上の結果、売上高は3,470億10百万円（前年同四半期比3.3%増）となり、営業利益は41億63百万円（前年同四半期比23.0%増）となりました。

<低温流通事業>

低温流通事業につきましては、将来不安による消費者の買い控え感や依然根強く、慢性的な人手不足に加え、企業間の競争激化等により経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下において、大手得意先との取引が減少するものの、商品や売場企画等の提案型営業による売上総利益率の改善に取り組むとともに、業務改善など生産性向上によるコスト削減に努めました。

以上の結果、売上高は481億57百万円（前年同四半期比2.4%減）となりましたが、営業利益は1億70百万円（前年同四半期は営業損失6百万円）となりました。

<酒類流通事業>

酒類流通事業につきましては、消費者の低価格志向が続いている一方で、所得環境の改善を背景に価格と価値を伴った上級化・上質化商品への需要移行が見られ、消費の二極化が一層鮮明になっております。しかしながら、成熟化した市場の中で、国内人口の減少や少子高齢化に伴う飲酒人口の減少、若年層のアルコール離れによって酒類市場の縮小傾向が続いており、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況下において、主要取引先との取り組みや自販力の強化を図るとともに、利益管理を徹底し、コスト削減及び生産性向上を図ることでローコストオペレーションに取り組みましたが、大手得意先との取引減少により、売上高は946億28百万円（前年同四半期比5.0%減）となり、営業利益は3億45百万円（前年同四半期比5.9%減）となりました。

<その他>

その他の事業につきましては、物流事業での取引増加により売上高は58億64百万円（前年同四半期比2.8%増）となりましたが、燃料コスト等の増加により営業利益は5億30百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ48億91百万円増加し3,096億80百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金が減少した一方、売上債権及びたな卸資産が増加したことから、38億38百万円増加し2,058億8百万円となりました。また固定資産は、投資有価証券の時価評価額の上昇等により、10億52百万円増加し1,038億72百万円となりました。

流動負債は、主に仕入債務が減少したことから、6億56百万円減少し1,865億54百万円となり、固定負債は、投資有価証券の時価評価額の上昇等により繰延税金負債が増加したことから、2億95百万円増加し128億35百万円となりました。

純資産は、52億52百万円増加し1,102億90百万円となり、その結果、自己資本比率は34.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ35億30百万円減少（前年同四半期は95億51百万円の資金の減少）したことから、583億61百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは17億57百万円の資金の減少（前年同四半期は27億42百万円の資金の減少）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益59億41百万円、減価償却費19億17百万円により資金が増加した一方で、売上債権の増加61億70百万円、法人税等の支払14億29百万円、たな卸資産の増加8億50百万円、仕入債務の減少7億71百万円等により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは4億90百万円の資金の減少（前年同四半期は31億86百万円の資金の減少）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは13億47百万円の資金の減少（前年同四半期は36億6百万円の資金の減少）となりました。その主な要因は、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月11日の「平成28年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,635	58,107
受取手形及び売掛金	111,241	117,476
有価証券	1,873	2,011
商品及び製品	20,227	21,161
仕掛品	11	7
原材料及び貯蔵品	392	349
繰延税金資産	693	633
その他	6,289	6,457
貸倒引当金	△396	△396
流動資産合計	201,969	205,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,634	15,201
機械装置及び運搬具(純額)	2,707	2,496
工具、器具及び備品(純額)	506	495
土地	25,071	25,262
リース資産(純額)	1,537	1,396
建設仮勘定	4	392
有形固定資産合計	45,462	45,243
無形固定資産		
のれん	3,272	3,082
ソフトウェア	3,253	3,091
電話加入権	45	45
その他	47	28
無形固定資産合計	6,618	6,249
投資その他の資産		
投資有価証券	37,040	38,638
差入保証金	5,158	5,180
投資不動産(純額)	3,536	3,250
繰延税金資産	384	284
退職給付に係る資産	1,031	1,132
その他	3,644	3,946
貸倒引当金	△57	△54
投資その他の資産合計	50,737	52,378
固定資産合計	102,819	103,872
資産合計	304,788	309,680

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	173,372	172,629
短期借入金	892	822
リース債務	500	479
未払金	8,584	8,030
未払費用	232	224
未払法人税等	1,560	2,090
未払消費税等	275	540
繰延税金負債	0	—
賞与引当金	1,142	1,144
役員賞与引当金	50	34
資産除去債務	9	—
その他	589	558
流動負債合計	187,210	186,554
固定負債		
長期借入金	566	426
リース債務	1,105	975
繰延税金負債	3,754	4,443
役員退職慰労引当金	369	324
退職給付に係る負債	5,234	5,211
資産除去債務	156	157
その他	1,352	1,296
固定負債合計	12,539	12,835
負債合計	199,749	199,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,813	8,842
利益剰余金	79,866	82,681
自己株式	△2,980	△2,981
株主資本合計	91,633	94,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,320	11,961
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△472	△99
退職給付に係る調整累計額	502	491
その他の包括利益累計額合計	10,350	12,353
非支配株主持分	3,054	3,460
純資産合計	105,038	110,290
負債純資産合計	304,788	309,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	480,504	485,732
売上原価	449,521	453,862
売上総利益	30,983	31,869
販売費及び一般管理費	26,675	26,653
営業利益	4,307	5,215
営業外収益		
受取利息	94	119
受取配当金	260	254
不動産賃貸料	133	154
貸倒引当金戻入額	0	0
売電収入	52	51
その他	224	268
営業外収益合計	765	849
営業外費用		
支払利息	30	26
持分法による投資損失	17	32
為替差損	4	11
不動産賃貸費用	54	63
売電費用	46	41
その他	34	11
営業外費用合計	188	187
経常利益	4,884	5,878
特別利益		
固定資産売却益	16	139
投資有価証券売却益	9	4
特別利益合計	26	144
特別損失		
固定資産除売却損	44	73
投資有価証券売却損	11	5
たな卸資産廃棄損	80	—
リース解約損	0	1
特別損失合計	136	80
税金等調整前四半期純利益	4,774	5,941
法人税、住民税及び事業税	1,674	1,932
法人税等調整額	210	120
法人税等合計	1,885	2,052
四半期純利益	2,889	3,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	142	231
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,746	3,657

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	2,889	3,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△811	1,716
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△315	411
退職給付に係る調整額	△2	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	31	△16
その他の包括利益合計	△1,097	2,099
四半期包括利益	1,791	5,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,735	5,660
非支配株主に係る四半期包括利益	56	328

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,774	5,941
減価償却費	1,925	1,917
のれん償却額	316	415
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△167	△4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△22	△44
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△184	△1
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△56	△16
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△123	△129
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6	△11
受取利息及び受取配当金	△355	△374
支払利息	30	26
持分法による投資損益 (△は益)	17	32
投資有価証券売却損益 (△は益)	1	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△16	△128
有形固定資産除却損	43	61
リース解約損	0	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,867	△6,170
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△607	△850
仕入債務の増減額 (△は減少)	114	△771
その他	△618	△556
小計	△800	△661
利息及び配当金の受取額	345	359
利息の支払額	△30	△26
法人税等の支払額	△2,256	△1,429
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,742	△1,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,100	—
有価証券の償還による収入	500	1,000
有形固定資産の取得による支出	△1,480	△791
有形固定資産の売却による収入	57	250
無形固定資産の取得による支出	△584	△552
有形固定資産の除却による支出	—	△20
資産除去債務の履行による支出	△0	△9
投資有価証券の取得による支出	△714	△700
投資有価証券の売却による収入	340	37
投資有価証券の償還による収入	—	300
投資不動産の取得による支出	△10	△5
投資不動産の売却による収入	101	—
貸付けによる支出	△58	△1
貸付金の回収による収入	8	2
定期預金の預入による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2	—
関係会社株式取得のための前払金の支出	△246	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,186	△490

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△240	△214
自己株式の取得による支出	△2,136	△0
配当金の支払額	△898	△842
非支配株主への配当金の支払額	△13	△16
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△316	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,606	△1,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	64
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,551	△3,531
現金及び現金同等物の期首残高	64,122	61,892
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,571	58,361

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	330,891	49,223	97,491	477,606	2,898	480,504	—	480,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,096	98	2,133	7,328	2,806	10,134	△10,134	—
計	335,988	49,321	99,624	484,934	5,704	490,639	△10,134	480,504
セグメント利益又は損失(△)	3,385	△6	366	3,746	557	4,304	3	4,307

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	341,748	48,063	92,865	482,677	3,055	485,732	—	485,732
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,262	93	1,762	7,119	2,808	9,928	△9,928	—
計	347,010	48,157	94,628	489,796	5,864	495,660	△9,928	485,732
セグメント利益	4,163	170	345	4,678	530	5,209	6	5,215

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。